



第1学年通信

愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校
令和5年2月7日発行

立春が過ぎ10年に一度の最強寒波も過ぎ去ろうとしています。まだまだ寒い日が続き本当に春が待ち遠しい毎日です。

3学期は一年のうちで最も短い学期ですが、今月は『郷土愛を育む校外学習』や『耐寒マラソン大会』が実施され、来週からは『漢字検定』『愛国学園大学バス見学会』『主権者教育』『コース決定のためのガイダンス』などの学校行事が次々と目白押しです。普段の授業にプラスα（アルファ）となり大変さを感じる時もあるかと思いますが、その分充実感や達成感などをいつも以上に味わえるチャンスと捉えて、自分に有益な情報をしっかりとキャッチしながら前向きな気持ちで取り組みましょう。

また、2月下旬からコース制決定のための「3回目生徒面談」が予定されています。「なぜそのコースを選んだのか、これからの学習をより深め、自分の目標に近づくことができるのはどちらのコースが最適なのか」選んだ理由を説明できるまで熟考し、最後は自分の意志でコース選択をすることが大切です。

郷土愛を育む校外学習

蘭組は1月20日（金）、竹組は2月3日（金）に龍ヶ崎市歴史民俗資料館へ見学に行きました。学校がある“龍ヶ崎市”の歴史と文化をガイドの方の解説と映像も交えて詳しく学ぶことができました。「龍ヶ崎が仙台藩であったことや昔の生活を知ることができた」「撞舞（つくまい）がすごい！」「昔の消防服がかっこ良すぎる」などの感想もあり、短い時間の見学でしたが新たな龍ヶ崎の魅力を発見したようです。



国選択無形民俗文化財

龍ヶ崎の撞舞 について

毎年7月下旬、龍ヶ崎市上町の八坂神社祇園祭の最終日夕刻。笛や太鼓の囃子に合わせて、緑色の唐草模様の衣装に雨蛙の面を被った舞男が高さ14メートルの撞柱（龍の姿を表している）に上り、四方に矢を放ち、逆立ちや柱



に張った綱の上で両手を広げて滑空する等の妙技を披露する400年以上前から行われている伝統芸能。

この舞には、雨乞いや五穀豊穡、疫病除けの願いが込められ、舞男が放った矢を拾った人は、災厄を1年間免れると言われている。



耐寒マラソン大会

風が無く穏やかなマラソン日和となった2月4日（土）。生徒の皆さんは、約4キロのマラソンコースの沿道から見守ってくださる保護者の方や教員の声援を受けながら、ひたすらゴール（学校）を目指して走り抜きました。（参加者全員完走）



1年生では、個人上位入賞者は残念ながらありませんでしたが、蘭組がクラス表彰で準優勝となりました。来年は今年の記録を更新できることを期待しています。お疲れ様でした！



2年生の5月に東北旅行（3泊4日）が予定されています。学校制定品（ソックス、ブラウス等）のご注文を来月にお知らせします。